

刊夕日十三月六

常警每日新聞

定価 一月五拾五圓 郵費五圓
 原稿五圓 二文字一圓 五拾五圓
 日曜祭日の翌日休刊
 發行所 常警毎日新聞社
 編輯所 常警毎日新聞社
 電話 六三〇番

感情的な騒ぎ (一)

落付のない國民

二宮尊徳翁が櫻町陳屋下に居た時、源吉といふ疊職人が居て、腕も出来たが、大酒を呑んで年中遊び暮らしてゐるから困窮してゐた年末になつて翁の下に來て餅米を借して呉れと云つたそこで翁の云ふのに「汝が如く年中家業を怠りて勤めず、錢あれば酒を呑む者、正月なればとて、一年間勤苦勉勵して丹精したる者と同様に餅を食はんとするは甚心得違ひなり、夫正月不意に來るにあらず、米偶然に得らるゝ物にあらず、正月は三百六十日明け暮れして來り、米は春耕し、夏耘り、秋刈りて初て米となる汝春耕さず、夏耘らず、秋刈らず、故に米なきは當り前の事なり。されば正月なりとも餅を食ふべき道理ある可からず。……正月餅を食たく思はゞ、今日より遊情を改め、酒を止めて、山林に入て落葉を掻き、肥を拵らへ、來春田を作り、米を得て、年々年の正月、餅を食ふべきなり。されば來年の正月は己が過ちをくひて餅を食ふ事を止めよと懇々説諭せられたり。源吉大に發明し、先非を悔ひ、

私遊情にして家業を怠り、酒を呑み、而て年中勉強せらるゝ人と同様に餅を食て春を迎へと思ひしは全く心得違ひなり。來年の正月は餅を食はず、過をくひて年を取り、今日より、遊情を改め、酒を止め、年明けなば、二日より家業を初め刻苦勉勵して來々年の正月は人並に餅を搗き、祝ひ申べしと云ひ、教訓の懇切なるを厚く謝して暇乞をし、しほく門を出づ」といふ事がある。

尊徳翁のこの筆法を以てすれば、今日でも我が國には正月に餅を食べた義理でない人間がかなり澤山居るであらう。又さういふ人間に限つてどうかすると、人一倍多くもちを食ふものである、かういふ人間は國家社會にとつて、マイナスの人である。世の中から五ほど受けて五だけの事をして返せば差引ゼロで、この世は進みも退きもしないで、現状維持である。五ほど受けて六だけの事をこの世にして置けばプラス一の人であり、それだけ世は進む譯である。先日來朝したマルコニー侯の如きは五に對して萬も億も返して置く人にかやうな人こそ本當に、人類の恩人といへるものである。

天地に満ちる
 青葉のオウ歌
 初夏は行け!
 野に! 山に! 海邊に!
 34年型デラクスセダンで
 三井ダクシー
 電話六八五番

産科
 婦人科
 花柳病科
 入院隨意
 井坂醫院
 平町田町 電話五五九番

エビスヤ自転車店
 平局御用
 宮田自轉車 代理店
 宮田自轉車
 平町 電話六六四番
 五千二百輛
 宮田自轉車九幸度郵便局納め
 小店員入用 貳名(十四、五才)

一冊の代金で
 御希望通りな
 五冊の雑誌が
 自由に讀める
 川崎 回文庫
 電六三〇番
 (申込次第規則書進呈)

皆様の要求に... 適中した大衆的酒場
 『酒の家』 愈々明日より開店
 値段の格安。味自慢。氣分本位の店で殊に酒は灘の生一本料理は素人なれ共原料を惜しまず常に新鮮なものを使用、極力皆様の意に添ふ様努力致します。是非御来店下さい
 平町田町 丸新デパート
 酒の家 喜多八

体温計の検査日です
 10日
 検査新設 お宅の体温計は?
 ◎正確な体温計を御使用下さい
 ◎毎月十日の検査日御利用下さい
 度量衡 指定販賣人 西村屋藥局
 計量器
 毎度有難う御座います
 今年も相變らず始めましたから御涼みがてら何卒御立寄り下さい。
 御待ちして居ります。

平二警察署通り
 魚清食堂部
 電話六三三番

吉田眼科病院
 平町屋町 電話六八番
 醫學士 吉田 久雄

平局の一號便が

二三時間速くなる

明一日から配達人を増員

△……劃期的の大革正

平郵便局に於ける一號便の郵便配達は午前七時半に同局を一齊出發して配達を開始するが配達を終了する時間は十一時より正午に渉るので市民から一號便速達要望を叫ばれる爲め去月より從來五名の配達手を六名に増員し之に依り約一時間の時間短縮を實現したが未だ公衆の希望を満し得ないので種々對策を練つた結果明日より簡易保險集金五人を郵便に配達に編入し合計十一名の配達手を以て一號便の速達を圖る事になつたが同改正により同便の配達終了は二時間乃至三時間を短縮し九時頃までに完了する見込みなのでこの劃期的改正は各方面より非常な喜びを以て迎へられてゐる

鎌田鐵橋の

延長愈よ實現か

改修事務所が東鐵に交渉

夏井川に架る鎌田鐵橋は現在在百三十米あるが一朝大水の際には水面と鐵橋ガードとの空間僅に二十厘米を餘すのみでこれが爲同鐵橋上流は濁水氾濫して各町村農民の被害頗る甚大なので夏井川改修事務所では同區域の改修實施を好機會として同鐵橋の高さを一米増し尙を十米延長する計畫を樹て目下東京鐵道局と折衝中であるが之が實現されれば同地沿岸農家に益する所尠くないので關係各方面から期待さ

修養會の

内容充實

回数減少

既報市内三小學校の修養會委員會は昨日午後二時より平第二小學校に開かれ協議の結果例會は従來毎月一回宛催されたが今後は一學期一回、一年三回に減して

平第二小學校に開かれ協議の結果例會は従來毎月一回宛催されたが今後は一學期一回、一年三回に減して

觀世流が

湯本で素詔會

平町觀世流同好者の研究會では來月四日午後五時平驛發列車で湯本へ小旅行を試み同町山形屋旅館内で素詔會を開くが番組左の如し 羽衣、巴、安達ヶ原天鼓 葵上、狸々

尚ほ一般同好者の参加も歡迎する

職員反省

指導の打合せ

平第一小學校では過般同校で行つた体操演習會並に父兄懇話會に就いての職員反省會を午後一時より應接室に開き指導上の缺陷に就いて打合せと

對抗試合

確信充分

同志満々の

既報本年度より剣道部を設けし連日猛練習を行つて居た平第三小學校では最近選手も上達して先進校である第一校選手に對抗し得る確信が附いたので披露の爲め七月上旬頃剣道大會を催し第一校選手を招き對抗試合を行ふべく準備中である

高野温泉に一泊

夏の湯の丘登山

平第一校の夏期体育

平第一小學校では昨日午後三時から職員會を開き八月三日から職員會を開き八月三日からの児童体育計劃に就き協議せる結果八月一日より十

星氏 歡迎宴

谷口樓上に

昨報来る七月一日午前十時より平町藤田女學校に於て開催する福島、茨城、宮城各縣のチエーン大會を機とし當日午後五時より谷口樓に於て社長星一氏の歡迎會を催す事になつたが會費は二圓で一般の出席を歓迎する由

地元側が

高値を云ひ張る

△……夏井川の潰地交渉

夏井川改修事務所では改修區域の上流移動とともに過般來九年度の施工區域たる平、平窪、赤井の沿岸各地主と潰地買収交渉を行つた結果既に各地主は工事着手を承諾したが昨二十九日は午後一時から飯野村南、北白士の地主四十七名を同村高圓寺に招き潰地買収の第一回交渉を協議した處各地主は一坪最高三十圓から一圓五十錢を主張し之に對し

他地漁業

四倉で視察

四倉漁業組合では漁夫の雇ひ入れ其他の漁業施設を視察する爲め組合長菅波末吉氏が新潟秋田の兩縣に向け昨日出發した

奉安庫を移轉

湯本小學校では現任の御眞影奉安庫を西に十間程移轉すべく縣へ申請したが工費千二百圓

鹿島一夜修養 鹿島村青年團では青訓生と聯合して來る七月五日午後五時

氷の御用命は

電話四六七番へ

魚清氷卸部

支店 江名販賣所

毎度御引立を載いでゐる

藤寅では例年通り

冷たい美味しい飲物

アイスクリーム アツキアイス
ミルクゼリー ソーダアイス
ミックス豆 其他水氷各種

相初めました是非…夏の花の御散

歩歸へりに御立寄り下さい

平一丁目

電話 一四一番

喜多流謡曲と仕舞の

お稽古をお勧め致します

平田町九六

喜多流 謡曲 舞 白土會

詳細は本會へ御問合せ下さい 電話 一二七番

玉川助役の

罪状明白

けいふ検事局へ 身柄を推送さる

去る二十六日検舉以來連日峻烈なる取調べを受けてゐた玉川村助役西九一氏(五六)は左記八件に互る罪状明白となり玉川村助役の名譽職の思ひ出も今は空しく詐欺恐喝横領といふ恐ろしい罪名の下に今三十日をば降る雨の中を平検事局に押送された

一、五年十月同村大字南富岡大平保吉から香奠十五圓を詐欺
二、八年二月同村淺間神社の社木三本拂下げ賣却代金十六圓五十錢横領
三、同、同村宇藤下鈴木杉之助が實家の石碑を富岡共同墓地に建立したる際無許可で建立したとの理由で五十圓を恐喝騙取
四、八年二月區長就任の際前區長より引継ぎされた公金五十圓を在任中に横領費消して後任區長に引継せず
五、八年二月より去る一月にかけ行政區長在職中に徴収せる區費百六十圓四十七錢横領
六、去る三月泉村瀧尻區より送付したる堰人夫料三十圓を横領
七、玉川村有林新植改修

尙ほ藤原川の際潰地賣收にからまる横領は各地主の被害が僅少なため不問に付すことになつた由

松崎家の慶事

けいふ華燭の典を

平町新川町雜貨商町議松崎長太郎氏長子長治右工門君は阿部政右衛門氏夫妻の媒約に依り小川村の素卦家草野正義氏令嬢清子嬢を迎へてけいふ華燭の典を擧げた新郎は警中出身後家業に従つて實地に商才を磨いた堅實な模範青年新婦は警女を優秀な成績で修め東都家政學院に學んだ才媛である

無情な鮮人

娘を強奪!

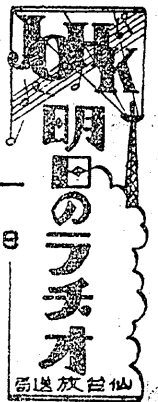
其儘音沙汰なし

小名濱町字一ノ町日雇業北村芳藏(四三)は三年前在京中生活に窮乏して深川區石島町一四鮮人申桂植(三九)より五十五圓を借用しその後生計に追はれる儘に返済しないので最近に至り申桂植から「元利合計百十圓耳を揃へて返済しろ」との突然な強談判があつたのでビックリ仰天したが目下どん底生活をしてゐるまゝ打捨て置いたところ再三訪問しては強い催促を受け果ては現在植田町藝妓屋ときわ方に年期仕込中の養父カズ子(三九)を東京一流の藝妓屋に世話してやると自ら二百

心中の遺書

無断で家出

好間村字北好間生れ太田テル(三三)は二、三年前より横濱市保土ヶ谷區星川町富士紡績會社の女工として働いて居たが最近妻子のある菊川純三(三三)と戀に陥り去る廿六日兩名共に熱海で心中する旨の遺書残して無断家



今晚も明日も南西の風晴曇半す

今晚の部

- 後六、〇〇 子供の時間 少年講談「尺八艦長」竹下春磨
- 後六、二五 公民常識講座 佐々木道雄
- 後七、三〇 名作物語「小公子」(四) 松井翠聲
- 後八、〇〇 ヲチオドラマ「軍國子守唄」羽田軍治

明日の部

- 前九、一〇 料理献立 榮

傷害起訴

明石劇團の 血塗れ事件

既報本月十七日内郷村綴劇場に開演中の東京市芝區宮本町生れ明石新劇團林建二(三三)が金銭の強要に來つた平町の香具師阿部岩藏(三九)を座員京都府何郡那志賀郷生れ志賀隆(三三)青森縣東津輕郡新城村生れ山本勇一郎(三三)岩手縣西磐井郡磐美村生れ佐藤勝治(三三)新潟縣西蒲子郡鏡郷村生れ田島貞次郎(三三)等四名と共に阿部に瀕死の重傷を負した事件は豫てより清田検事が審理中であつたが昨日前記五名を全部傷害罪として起訴したので近く公判に附される筈

裁判所たより

△既報警崎村大字藤原字忠田農高木善吉(五八)の放火事件は廿八日香西判事係り清田検事立會平支部の公判に檢事より懲役三年を求刑され七月五日言渡されるが本日申請に依つて五十圓の保證金を積み保釋された

盗んだ材料で クラツカ製造

主家の眼をかすめ 夜中忍かに

去る二十八日午後十一時頃平町研菓子工場白土作藏方より石油罐を風呂敷に敷んで逃走せんとする怪漢あるを巡中の平署が発見、有無を言はず逮捕引致取調べると右は平町久保町居住茨城縣久慈郡小里村生れ菓子製造職二吉村専十郎(三三)で前記白土方に雇はれ中昨年十一月より數回に亘り工場内のメリケン粉一貫五百匁宛を石油罐の中に入れてその上に消し炭を重ね巧みに主家の眼を胡魔化して工場外に搬出夜中再び來つて自宅に持歸り之れを原料としてクラッカーを製造販賣してゐたものでその人を喰つた犯行には保官も啞然としてゐる

耳鼻咽喉科専門 大和田醫院

平町南町 電一七〇番

- △農夫 五十五才
- △土工夫 四十五才 高卒
- △雜婦 五十二才 無學
- △雜婦 五十五才 無學

- 後〇、五〇 滿洲より「慶應元年の豫算に就て」松田令輔
- 後一、二〇 講演「長會根虎徹」大島伯鶴
- 後六、〇〇 子供の時間 新日本音楽 若手縣花巻町深町けい子外
- 後六、二五 産業ニユース 後七、三〇 日曜特輯ニユース 松本鑑 豊竹團司
- 後八、〇〇 浪花節「津田近江守」京山小園嬢
- 後八、四〇 連続ラヂオドラマ「嚴肅王(第一回)」市川猿之助 市川八百藏 外大勢

平職業紹介所報告

- △人を求める方 回人を求め方
- △トラツク助手 廿前後 尋卒 給料面談
- △女中 廿才前後 尋卒 月五、六圓
- △小店員 廿才以上 尋卒 給料面談
- △女中 十六一二十才 尋卒 月五圓
- △回職を求める方
- △雜婦 五十三才 尋卒
- △新聞配達 十六才 商業在學
- △女中 十六才 高卒
- △土工夫 四十四才 尋卒



(藤野上院及上巻)

田邊南龍(作) 山本英春(書)

住み易い片山里

「イヤどう致しまして、そんな御丁寧な御挨拶やア困ります、其處に草履があるから夫を穿いて、裏口へ出なされると懸樋がある其處で顔を洗つて來なされるが宜しい」

「イヤ忝ない」 權八は教つた通り草履を穿いて裏手へ出ると、畑がある、鶏が十羽ばかり餌を拾つてゐる、懸樋の水が四角い桝に落ちてゐる。向ふを見ると、白壁作りの立派な構へがある、其の外一二軒宛彼方此方に百姓家が見へる僻村ではあるが現在の權八に取つては、誠に住宜い土地らしく思へる、口を濯ぎ、顔や手足を洗つて、戻つて來ると爺さんが溢茶を汲んで呉れる、煙草を喫みながら段々村の様子を聞いて見ると此處は田村在の四木村といふ處で、向ふに見える白壁造りは、名主の福住清左衛門の家だといふ、爺いは庄作といつて子供が早死して今では老人夫婦が淋しく暮らしてゐるといふ事です、權八懷中より金子一兩を取出して、紙の上に載せ

此度御厄介に相成つた御禮でござる何卒お納めを願ひたい」 庄作は吃驚して 「貴方はお大名の若殿様か何だか知らねえが、之しきのことにお金なんぞを頂い

致す故暫らく疲れを休めて参りたいと存するが」 「こんな山の中でも宜いので」 「イヤ手前は此の方が却つて宜いと存じます」 「お前さんが居たいといふなら、何にもお構ひは出来ませんが、いつまでお在なすつても構ひませんよ、ナア婆さん」 「ア、宜いともね、爺さん姿さん二人つきりで、話對手にもなんねえだらうが、夫で宜かつたらいつまで、



ちやあ済みません、之はマアどうか其方へ藏つといて下せえ」 「イヤ夫に就てお願ひがござりますが如何でござらう當分拙者を御當家へお置き下さる譯にはなりませんまいか、何分足を痛めて難澁

も居なさせえよ」 「早速の御承諾忝ない、就ては之なる金子、兎に角お納め下さい」 「婆さんどうしやう」 「折角殿様が仰しやるもんだからお預かりしといたら宜いさ」

一兩のお蔭で忽ち殿様になつて了つた、今までは權八は明けても暮れても、さしたる物音にまで心を置かなければならなかつたが此處へ來てからといふものは誠に氣樂な身體になつた、ある日、爐の端で爺と雑談をしてゐると、表を通り掛つたのは十七八の娘と、其の女中でもあらうか二十四五の女、斯様な山村にどうして此んな美人があるかと思ふ位の麗艶な娘でござい、ます、一寸庄作の家を覗いて挨拶する、

店主	が	店員
を	運	れ
か	れ	る
正	シ	イ
正	シ	イ
正	シ	イ
酒	場	
食	堂	
喫	茶	
平・田町		
ラ	ン	サ
ロ	ス	ト
電	三	五
三	二	番

門專 科病柳花外
院醫科外村木

際橋目丁六町平
番〇三九話電

りあ便の院入炊自

池坊平華道研究會

初心ノ人々ヲ標準トシテ専門研究並ニ教授者ノ爲ニ華道ニ關スル理論及技術ノ大要ヲ確實ニ習得セシム

要目、生花、立華、盛花、投入、實地挿習解説、尚口傳

毎週 月曜午前九時ヨリ正午マデ

(但シ七月の第一月曜より)

會場 平町長橋性源寺

講師 先崎翠峰先生

日本華道ノ發展向上ヲ圖ルタメ進ンデ御來會ノ程御願ヒ致シマス。

夏の洋品特賣

カンカン帽35より
カツター85
折衿シャツ55
開襟シャツ1.00
子供マニラ帽38
エブロン20
ネクタイ50

平町二 電話六〇五番

山家メリヤス店

警城共濟病院

小兒科 院長 賀一忠 (電話六四二番)

婦人科 院長 賀一忠 (電話三七〇番)

外科 院長 賀一忠 (電話二七二番)

耳鼻咽喉科 部長 賀一忠 (電話二七二番)

皮膚泌尿器科 部長 賀一忠 (電話二七二番)

花柳病科 部長 賀一忠 (電話二七二番)

X光線科 部長 賀一忠 (電話二七二番)

衛生試驗局 局長 賀一忠 (電話二七二番)

藥劑局 局長 賀一忠 (電話二七二番)

事務局長 賀一忠 (電話二七二番)

病室完備 入院隨意

◎毎日午前八時ヨリ午後十時迄診療

◎夜間診療開始(毎夜午後十時マデ)

◎病室完備 入院隨意

初夏

道歩く紳士の足もとは白靴にかざやく!

A 先づ何よりも白靴 足も軽けりや心も躍るよ

B 成程豪華をかぶつて黒靴では 断然安い菊地の白靴一九三四年型に すると云つてやつたがね.....

既製 四丁目驛通り 菊地靴カバン店 電話六五九番

¥1.80ヨリ 5.00マデ